

理事会 会議録

日 時	令和3年3月2日(火) 18時30分～20時35分
場 所	めぐみ野サッカー場 A本部室
出席者	菅原英俊副会長・加藤理事長・山口副理事長・千田副理事長・桑嶋総務部長 他、協議会理事 及びブロック長(含:代理)
記録者	広報理事 菅原一美

宮城県サッカースポーツ少年団協議会理事会

協議事項

令和2年度の事業報告(暫定)並びに収支決算報告(暫定)について
 令和3年度の事業計画について
 令和3年度のリーグ戦について
 各部から
 その他

【議事の経過】

議事進行： 桑嶋総務部長

開会挨拶： 菅原副会長より

3月、まだコロナも先の見通せない中、また体調管理も厳しい時節でもあり十分に気をつけて活動してください。

令和4年度の年間活動カレンダーが実施できることを前提での会議となりますが、よろしくをお願いをしたい。

4種の中で不祥事が起きたことは非常に残念なことで、長くやっていることの弊害なのかもしれない。令和4年度事業では、より緊張感を持って活動をして頂きたい。

・・・佐久間新審判部長を紹介し、協議事項へ

令和2年度の事業報告(暫定)並びに収支決算報告(暫定)について

事業報告

斎藤競技部長より

2020年度事業は、U-12選手権の実施のみに留まったことを報告

全国大会では、ベガルタ仙台 Jr. が決勝トーナメントPK戦にて敗退したことを報告

伊勢技術部長より

練習会 10月から6回実施の報告。次回3/27を予定。

大会は、6年生対象のデクセリアルズ杯のみ実施し、他カテゴリはすべて中止
 指導者講習も10/10実施のみ

3/27は、U-12男子練習会を予定。U-12女子はなし

4月以降にU-13選考会を実施します。旧所属となりますが、チームに連絡しますので、伝達協力をよろしくお願いします。

4/3：新6年生選考会を松島FBCで予定

佐久間審判部長より

4級新規審判講習、リモートのみで3/13・14 10時～12時で実施します。

(申込受付は、3/5迄)

菅原会計理事より・・・配付資料に基づく報告

収入について、メモリーアートから2020年度頂いておりますが、2020年度の活動実績から、令和4年度は、頂かない方針。

支出については、時間的な関係で3月末日までには若干増える見込みは有る。

桑嶋総務部長より

「新年の集い」は無かったので、大きな動きとしては、「執行部会・理事会」のみの実施となりました。

令和3年度の事業計画について

加藤理事長より コロナ以前の計画に基づいて

菅原会計理事より

令和3年度暫定予算案の説明・・・配付資料に基づく

・令和3年度予算は146団、令和元年度予算案に基づいて案を作成。

Q．登録費の支払はいつまで？

A．例年通り4月中の振込完了で

Q．競技部長より、ワーキンググループの活動（会議）が指示されているので会議費を予算計上してもらうことは可能か？

A．会議費全体を20万円から40万円とする。基金と予備費から充てる。

令和3年度のリーグ戦について

斎藤競技部長より

令和4年度のリーグ戦について

・2021年度スーパーリーグの実施は見送りへ

2022年度実施に向けて、実施にあたっての課題の洗い出しと課題解消をテーマにワーキンググループを設置する

令和3年度は、1チーム14試合をこなすリーグ戦実施とする。（全ブロック共通）

・令和3年度中にワーキンググループを立ち上げ千葉宮城県ユースダイレクターが入った形でワーキンググループを稼働させていく。

・ワーキンググループの座長を設け、各ブロックから担当選出をしてはどうか。メンバー構成をどうするか、この場で決定をお願いしたい。

・U-12選手権の参加資格は、リーグ戦の参加・規定試合数の消化が必須条件3/13に実施される「東北4種委員会」で、試合数については改めて確認。

JFAは、16試合がベース？20試合が理想？・・・いずれなのか確認。

リーグ戦の宮城県にあった形式を。レベルの拮抗するリーグ戦が必要なのかも含めて、令和3年度はリーグ戦14試合と設定し、ワーキンググループで令和4年度に新たな発想で次世代へ継承してもらう。

加藤理事長より

登録人数減少傾向についての説明・・・配付資料説明

・フェスティバルは、一過性のものであり、登録に結びついていない現状がある。

・その他参考資料の説明として、「よくある質問」に注目をお願いする。

・登録人数減少傾向を抑える策を考えていかなければいけない。

大会そのものが子ども達の大会になっているのか？

大会の風評・評価も他競技に持って行かれないようにしたい。

「スポーツ少年団」が単純に「クラブチーム」のような活動は出来ない側面を持つことも考慮していかなければならない。

コンプライアンス関係

前審判部長・前仙南ブロック長による「遠征費バス代未払い・審判部会交通費未払い・仙南ブロック内経費未払い」等々

現在、誓約書（確認書）の提出を求めるも未提出（3/2現在）

これらを踏まえて、、、

各ブロックにおいても「ブロック長」と「会計担当」は、別にして管理するようにして、現金管理はもちろん、年一回の監査はしっかりとするように。

今後、不透明なことの無いような資金の流れを作りましょう。

3) 各研修会の実施

技術部・審判部・・・・・・現在、実施に向けて企画中

ウェルフェアオフィサー・指導者研修会 等々、実務研修形式・WEB研修形式等々
実施形式も様々な形で企画検討し実施。

本部役員の移行、組織の人材育成課題

どうやって2022年度をやっていくかも考えて組織・人材構成を考える。

菅原副会長からのコメント・・・・各ブロックの意向が執行部に伝わっているか

理事会の内容が各チームまで下りているか。 確認を！

齋藤競技部長より

定年制を設けては？任期制？在籍年数も考慮？

期限を決めておかないと次を考えない雰囲気が継続する。

執行部でたたき台を決めてはどうか。

各部から・ その他

加藤理事長より

東日本大震災10年メモリアル大会参加チームについて

ベガルタ仙台+宮城県から1チーム。不参加県が出れば宮城県から順次依頼が来ます。

希望チームによる抽選の結果

宮城県参加チーム： 古川SSS FC中山 メッセ宮城

の順に参加となります

これらの情報も含めて、正しい情報をブロック及び各チームに伝わるようお願いしたい。ブロック長・協議会を飛び越え、県協会に問い合わせが入ることがあるようです。

・【競技規則の改正】について・・・・配付資料の説明

・2/27(土)スポーツ少年団市町村研修会に参加・・・・配付資料の説明

最終ページのQ1・Q2をテーマにして、皆さん考えていきましょう！

・各種問い合わせ対応について

スーパーリーグに対する問い合わせが塩釜FCから「要望書」として、問い合わせが入りました。

現状、加藤理事長からの回答後の再度の問い合わせは無い。

スーパーリーグについては、先に上げたように

千葉宮城県ユースダイレクター・県協会事務局、及びワーキンググループ座長の下、

各ブロック・エリアの代表者で構成し、協議を行っていく。

桑嶋総務部長・規律・フェアプレー委員長より

ウェルフェアオフィサーについて

2/22(月)WEB会議に参加

フェアプレー委員長と研修の設定を検討中

各チーム最低1名設置を必須とする。

菅原副会長より

コンプライアンス関係も、各ブロックの体制も明確化を。

千葉宮城県ユースダイレクターより「トレセン関係の地区・地域の使い方において透明性に疑問はあります。4種協議会で透明性を」と求められています。

ワーキンググループと平行して各ブロック内での意見交換を実施して欲しい。

様々な意見・案をブロック長がまとめて理事会にあげて欲しい。

市川ブロック長より

塩釜FCから「要望書」は上がったが、ブロックとして上げた話しではない。
スーパーリーグは、クレームが上がったから中止にしたのか？

<回答として>

今回は、宮城県サッカー協会としてもスーパーリーグを中止にする意向。
(宮城県サッカー協会主催事業である)
リーグ戦は、新年度の予算、半分を占める事業。
宮城県サッカー協会も収入の減少から予算配分が厳しい現状もある。

その他質問

仙台市学校交歓大会・・・8月抽選会、9月大会(予定)等が予定されているが、
・小学校の対外試合禁止の中、教育委員会との話し合い等は設けられているか？
・仙台市教育委員会、県教育委員会、他市町村教育委員会、またスポーツ団体組織等々

<回答として>

基本的に話しあうということはない

また、齋藤競技部長より

状況が変われば、大会出場条件は変わるものである
現状として、「単独練習はOK。対外試合は×」「期限無し」も。
現況、柔軟な対応をしているとして行われているものはある。
「本来は だが、現況に応じて とする」との対応はある。
【現状は、あくまでも見込みの設定】

加藤理事長より

今後予定

5月評議員会 日時未定

通常期、同日に開催している「新人戦組合せ抽選会」も全チーム招集による抽選会ではなく、代表抽選で行ってはどうかと考えている。

桑嶋総務部長より

本日、各ブロックにバーモントカップで配布予定であった景品(シューズバッグ)を配布。

齋藤競技部長より

年間計画カレンダーは、次年度全行程実施可能であることを前提に計画カレンダー案は作成済み。後日ブロック長を通じて配布。

- ・秋田スカイドームは、2021年度施設改修のため、実施予定そのもの無し
- ・松島FBCは、スーパーリーグ前提で予約している。

松島FBCの利用継続をしておかないと次年度予約が取りにくい。。。。

本日の理事会で、ワーキンググループ(WG)の枠組みを決められないか？

(流れとして WG 理事会 WG 理事会～・・・を経て11・12月には
リーグ戦の枠組みを形作りたい。)

- ・一部・二部の入れ替え戦・リーグ戦におけるしぼり等々の対応を協議しておかなければいけないであろう。

4種の場合においては、前年実績の踏襲では考えにくいと思われる。

加藤理事長・桑嶋総務部長より

伊勢技術部長をワーキンググループの座長とし、各エリア代表として以下の内訳で実施をお願いする。

仙南ブロック 1名、仙台ブロック 3名、中央・石巻ブロック 1名

大崎・県北ブロック 1名、の計6名に県協会・千葉ユースダイレクターを加えたワーキンググループで協議をお願いする。

3/21までに上記のワーキンググループメンバーを選出し、加藤理事長に報告を。

その他の事項として、

移籍・合同チームの形成については、2018年度書類の確認をし、2021年度で運用。

2021年度新規チームの参加も踏まえ、「協議会加盟登録用紙」「各担当・各登録書式」について、改めて整理し、確認統一をします。

齋藤競技部長より

U-11のチーム数の報告を早々をお願いする。

リーグ戦に出ていなくても「新人戦」に参加する資格はあり。

以 上

閉会挨拶

山口副理事長より、コロナ禍が続く環境ではありますが、皆さんの日ごろからの配慮に感謝をしつつ、今後しばらくはまだ、厳しい環境下ではありますが、頑張って活動をして頂けますようお願いをして閉会の挨拶とさせていただきます。

20時35分閉会。（次回理事会開催は、未定）

2021年3月2日（火）

会議録署名人

高橋 太一

記録者 菅原一美

